



刊夕日七十二月六  
本日 日曜 祭日  
郵税 一月 二十五錢  
郵料 一月 四十錢  
場所 指定 武拾陸番  
發行 兼 編輯 印刷 人  
牛 谷 政 喜  
新 井 大 町 二 三  
新 井 大 町 二 三  
新 井 大 町 二 三

座講識常  
ソシアル、ダンピング  
は我が貿易品が諸外國  
の商品を壓倒してある  
ものを指して勞賃を安  
く時間を長く使ふから  
だと云ふ意味、ソシア  
ルは大投資の事である  
後記念撮影して散會したが合  
格氏名左の如くである  
第一部 田澤庄助 岡部清  
三 佐浦長吉 中尾照 富  
永きくよ 林卯之助 大河

原武雄 岡部義雄 坂本義  
一 佐藤末吉 木村かつよ  
佐藤とめ 渡邊みさ 宗像  
ふゆ 長谷川きよみ 大槻  
ゆき子 赤津あけ  
寺田兼藏 吉勇 木村せつ  
◇第三部 星島美 鈴木五郎  
渡邊はるの 渡邊悦子 河  
野紀一 野口秀男 遠藤正  
三  
◇第四部 仲井つる 野崎潤  
一 小針清房 小沼たか  
三 瓶正治 藤田嘉吉

一番）安くて五、六十圓、仔  
鬼の普通もの五、六圓を唱ひ  
てゐるので従来収毛の賣場は  
困り日頃倦厭して飼養家を廻  
飼養してゐる欲しいと

下落も大体底と見て  
乾蘭保管千七百貫余  
石城郡下の三實行組合に於て  
此程漸く纏まつた模様  
日間水戸市茨城縣會議事堂に  
於て開催の當り平町でも七月  
十日まで希望申込みを受けて  
ゐるが受託資格は工業組合、  
同聯合會の役員員及び將來同  
役員員たらんとするもの並に  
今後組合を設立せんとするも  
の等に無料講習の上修了證書  
を授與されるもので科目及び  
講師は左の如くである  
科目 工業組合制度 同組合  
法 經營(實務と經營) 登  
記 海外貿易事情 實験談  
講師 商工省 裁判所 中央  
會役職員(以上)

須賀川專賣局か  
ら義捐金  
勢越東線赤井驛東方の踏切に  
於て本月六日須賀川煙草專賣  
局の従事員慰安の臨時列車に  
衝突した乗合自動車に七名の  
犠牲者を出したことは當時  
報知したが同局では右に對し  
て従業員一同から融金した金  
二十九圓五十七錢の義捐金を  
今二十七日平警察署長宛に送  
されたので同署は直ちに左記  
該當者に旨を添えて贈り横山  
署長から局長宛の禮状を出し  
た  
金五圓九十一錢北郷よし  
櫻井きん 木村なか(以上  
共濟病院内)二圓九十六錢  
赤井村鎌倉かつ 八圓八十  
六錢伊藤秀夫 岡武夫

### 一般調査を終つて 特別委員會に移る

#### 委員長は萩原義雄氏の模様 本會議廿九日になるか

平町特戸割賦課の町會は昨報  
の如く委員の調査中今二十  
七日一般調査の中に就つて  
終了される模様であつて特別  
委員(賦課三十圓以上)に對す  
る(賦課二十七日午後左記九  
町議を擧げ右一般調査を終了  
と同時に之れが審議檢對に移  
る筈であるが前記紺屋町方面  
の調査が遅れた爲め二十八  
日午後一時から閉會の豫定で  
ある本會議までに特別調査が

以て三萬貫に上るものと見ら  
れてゐるが同市場は来る三十  
日を以て閉場の豫定である  
白蘭高値二四圓三〇錢 低  
値一六圓 平均二二圓八〇  
錢 黄蘭高値二二圓 低値  
一五圓 平均一八圓九〇錢

### 某村助役に横領か 平署愈よ活動開始

#### 昨日は關係者今日は助役召喚 取調への進展注目さる

常磐線湯本驛に近い某村助役  
に係る横領事件は平檢事局の  
命により平署に於て昨二十六  
日から關係者の取調を開始  
し今二十七日は前記助役の召  
喚あり司法主任渡部警部補は  
現地に出張詳細な實狀調査を  
遂げて午後から關係助役の取  
調を行つたが事件は公私兩  
者に跨るもの、如く見られて  
居り金額は時程の大金に及ぶ  
ものでなく數百圓程度かと云  
はれてゐるが五、六件に亘る  
らしい模様であつて取調への

進展を注目されてゐる  
昨二十六日の  
四倉市場  
白二一四八〇錢  
黄一八四九〇錢  
四倉市場に於ける昨二十六  
日は白蘭八八七貫五三〇及黄  
蘭二二四貫二〇及計千十一  
貫七百四十四の出荷で相場は  
左記の如く當日までの累計一  
万九千二百六十五貫三百五十  
五に達し今二十七日の取引を

### 平機關庫に 金杯表彰

#### 新井局長の來庫 平機關庫に於ける業務の成績 良好に對して金杯を授與され る筈と既報の如く今二十七日 午後一時五十分平着列車 で東鐵局長新井亮輔、同運轉 課長武井明通、水戸運轉事務 所長中村嘉平氏その他來平直 ちに機關庫に於て右授與表彰 の式を舉行したが局長一行は 午後三時の上り列車で後方面 の視察に向つた

協議會  
蘭價暴落の對策  
蘭價の暴落に對する農村の悲  
歎は別項にも所報の如く本縣  
では之れが對策に有力者の協  
議會を来る二十八日午後一時  
福島市に開かれることになつ  
たが石城から實行組合長酒井  
猶次氏外數名出席すると

石城地方にも數年來商人の宣  
傳で少數の飼養家があるアン  
ゴラ現は同鬼毛の販路が不確  
實のため指導當局にも副業と  
しての奨励を避けられてゐた  
が同鬼の毛で作られる婦人の  
帽子の最も優秀なものが蘭蘭  
紡績に於て専門機械を輸入し  
製造を試みられた結果フラン  
スより輸入する良品よりも遙  
かに立派なものが出来ること  
になつたので蘭紡では逆輸出  
に力を入れアンゴラ鬼の飼養  
に力を入れたる奨励を興ふるに  
至つたが同毛の相場(時價)は  
左記の如く一ヶ年一度の刈上  
げに一頭から二十丸を得るも  
のとせば一圓以上の収益を見  
られる譯で實先に確實性を得  
たる農林省並びに當國農會に  
於ても系統的に奨励されてゐ  
るので現在所有者は安心して  
同鬼飼養に努力して欲しいと  
那農の柴田技手は語つた

### 婦人帽とアンゴラ 養兔副業に新光明

#### 蘭紡が試作に成功して逆輸出 農林省と帝農の系統奨励

養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励  
養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励

養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励  
養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励

### 川魚の習性と 其漁法(九)

#### 石田磐中教諭

尙ほ此所で一言して置きた  
いことは同一河川に棲む同種  
類の魚類でも其の棲息位置が  
河川の上流にあるか下流であ  
るか水温が高いか低いか等に  
よつて多少習性に差がありま  
す、況して同種の魚類でも河  
川が異なるとなか／＼習性は  
一様とはかり申されません、  
選擇、運動などは取分けて漁

養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励  
養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励

### 工業組合理事者 養成講習

#### 工業組合中央主催の工業組 合理事者養成講習會は七月 二十二日から二十五日まで三 日に關係して参りますから心 得て置かねばならないことで あります、 四、河川に於ける魚類の 分布、 水あれば魚棲む、魚類の棲 息する所水を通ずると云ふ様 に河川と魚類は相離るゝこと が出来ないものであることは 更めて申上ぐる迄もありません、 然し乍ら如何なる河川も 常に同様な魚類の分布を受 ける事は出来ないものであり まして河川の景況、特質その他

養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励  
養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励

### 須賀川專賣局か ら義捐金

#### 勢越東線赤井驛東方の踏切に 於て本月六日須賀川煙草專賣 局の従事員慰安の臨時列車に 衝突した乗合自動車に七名の 犠牲者を出したことは當時 報知したが同局では右に對し て従業員一同から融金した金 二十九圓五十七錢の義捐金を 今二十七日平警察署長宛に送 されたので同署は直ちに左記 該當者に旨を添えて贈り横山 署長から局長宛の禮状を出し た 金五圓九十一錢北郷よし 櫻井きん 木村なか(以上 共濟病院内)二圓九十六錢 赤井村鎌倉かつ 八圓八十 六錢伊藤秀夫 岡武夫

養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励  
養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励

### 三人共謀で無銭 遊興

#### 平町の四軒町一九九生れ常時杉 平一九九材木店員水野政馬(三 田村船引町宇樋水一九九當 時平町六丁目製板職工橋本應 高(三)同じく製板職工平町紺 屋町四五居住石城郡神谷村の 向藤田宇石名坂一七小川靜 (美)三名は共謀して昨二十六 日午後十時頃平町南町三七料 理店中村屋事村中村方へ所 持金ある如く裝ふて登樓し金 九圓五十錢分を飲食して支拂 はず酌婦に發行して逃走した のを二十七日午前零時十分頃 南町地内街路で平署員に取押 へられ目下取調中だが同入 等は尙ほ障子及び襖の類を破 壞してゐると

養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励  
養兔副業に新光明  
蘭紡が試作に成功して逆輸出  
農林省と帝農の系統奨励

